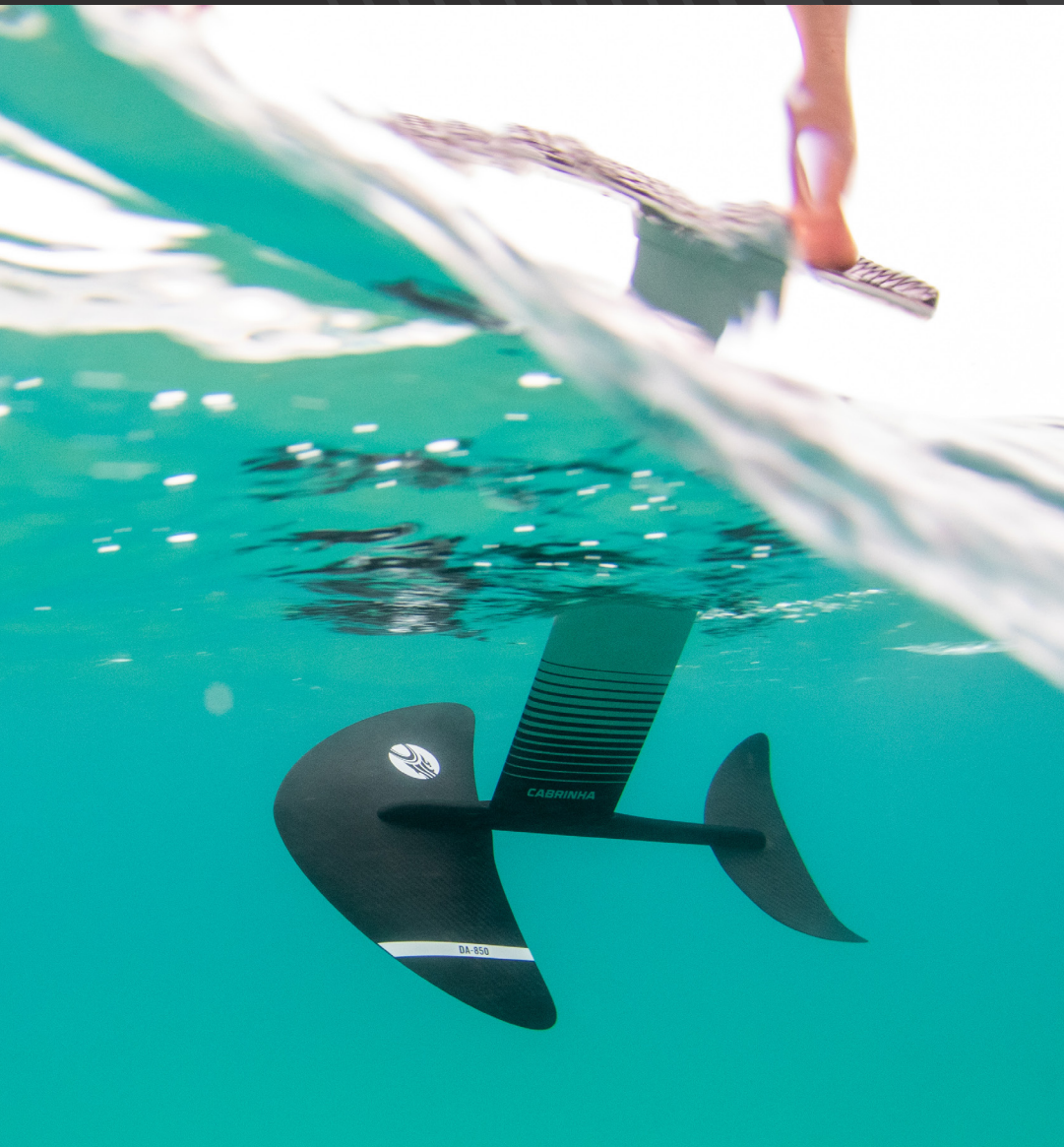


USER MANUAL JAPANESE

00:01 FUSION FOIL



CABRINHA 

A WARNING

安全のために必要な以下の内容に同意できない場合、この商品の使用を禁じます。また以下の内容は不定期に変更されることがあります。最新の情報をアップデートするために、絶えずカブリナ・カイトサーフィンのホームページ WWW.CABRINHAKITES.COMをご覧ください。

使用者が18歳以下の場合、両親または保護者に以下の警告やインストラクションに関する項目とユーザーマニュアルを読んでもらう必要があります。レッスンを受け、インストラクターがマニュアルを読んだ者の監督下でしかこの製品を使用できません。

この製品にはその使用に伴い、予期せぬ危険が起こる可能性があります。カブリナおよび販売店は、当製品以外の資産の損失や他資産の消費に生じた損失、あるいはその他の経済的損失を含め、しかしそれに限定されず、いかなる特別的、間接的、付随的、結果的、法定的もしくは模範的損害に関して、契約行為であったか、不法行為や過失があったか、厳正な賠償責任であったかを問わず、一切責任を負わないものとします。

カイトボードは激しいスポーツです。パワーカイトやそれにつながるライン、コントロール・エクイップメントは、使用者自身や回りの人々に危険を及ぼす可能性があります。カイトボードを行う際は真剣に、慎重に取り組み、経験が浅いライダーはプロのインストラクターや経験豊富なカイトボーダーのレクチャーを受けることをお勧めします。カイトの使用方法が正しくない場合は、ライダー自身や周りの人々に深刻な怪我を負わず、または最悪の場合には死に至らしめる可能性があります。電線や空港、建物、道路、樹木の近くではカイトを使用しないでください。カイトボードを行って良い場所で行うようにしてください。また、カイトのフライングラインが人や物に触れないようご注意ください。カイトは常に見通しの良い場所でご使用ください。風や天候に留意し、特に、オフショアやオンショア、強風時には注意が必要です。陸上で完全にカイトの操作ができるようになるまで、水上でカイトを使用しないでください。ライダー自身と周囲の人の安全を守るため、カイトの操作に慣れるよう陸上で十分に練習を行ってください。カイトを使用する際の安全面の責任は、すべてライダー自身にあるということを絶えず頭に入れておいてください。このスポーツを練習する際には、自己の限界を留意し、無理をしないようご注意ください。海上でカイトを使用する際には、安全上、必ず保護防具や浮力体を身につけ、カイトとライダー自身をほどけないほどしっかりと繋がないようにしてください。カイトを飛行目的、浮力体として使用しないでください。

A WARNING

お勧めのカイトボーディング練習方法:

カイトボードはいろいろなスタイルやレベルに応じて楽しめる多様なスポーツです。しかし、他のスポーツと同様に先天的な回避しがたいリスクも伴います。カブリナカイトを使用する前に、下記の安全上のキーポイントを覚えておきましょう。

- カイトボードは危険を伴うスポーツで、カイトボードの使用者は人体のあらゆる箇所に深刻な怪我をする怖れがあることを理解してください。
- カイトボードをする際に怪我をする危険性は非常に高く、カイトボードを始めようとする使用者はそれを理解しなければなりません。
- 未成年は必ず監督者のもとでこの製品を使用してください。
- 初心者はまずレッスンを受けることを強くおすすめします。
- 使用する前には常にすべてのラインやキャンピー、ブラダー、ネジ、その他全般に、擦れや引き裂けの兆しがないかどうかチェックしてください。
- 擦れや引き裂けの兆しが見られた場合、使用する前にただちにリペアやパーツ交換を行ってください。擦れや引き裂けに関する質問がある場合は、地元販売店にお問い合わせいただくか、ホームページ www.cabrinhakites.com をご覧ください。
- ライダー自身や他の人が怪我をする可能性がある状態やカイトボードのいかなるパーツを破損する可能性がある状態を絶対に避けてください。安全に自力で岸に帰って来られる状態を保ってください。
- 正規販売店で購入した正規製造パーツを使用してください。
- 海の状況やカレント、天気予報など、コンディションに関して勉強し、そういった情報を出艇する前に必ず確認してください。オフショアやオンショア、強風でセイリングする際には注意が必要です。
- 初めてのポイントに行った場合、出艇する前にまずはそのポイントに慣れることを心掛けてください。危険なものがないかどうか、地元のライダーに訊ねましょう。
- 遊泳者や小さな子供など、他のビーチ使用者に注意してください。ボードとカイトやラインを常にコントロールできる状態に保ち、ビーチや海上で風に吹かれて飛ばされないようにしてください。
- 常に十分な浮力体をつけてください。ウエットスーツやUV効果のあるトップスなど、適正なスーツを身に付けて出艇してください。ヘルメットの着用を強くおすすめします。
- 絶えず出艇あるいはビーチに戻ってくるタイミングを他の人に知らせてから行動しましょう。セイリングパートナーをみつけ一緒にビーチにいきましょう。
- コンディションの変化(風が落ちる、風や波が上がるなど)に注意し、変化の兆しが見えたときには、常にビーチに戻ってください。
- ビギナーのうちには自己の限界を超えるコンディションでカイトボードしないでください。
- この製品は改造や変更をしないでください。
- この製品は海上または雪上でカイトボードすることだけを目的としてデザイン、製造されています。
- このマニュアルにはカブリナカイトを陸上、水上、雪上で扱ううえで大切な安全面を明記しています。

A WARNING

カイトボードとフォイルの危険性

カイトフォイルリングは正しい方法でライディングしなければ非常に危険なスポーツです。使用方法が正しくない場合は、ライダー自身や周りの人々に深刻な怪我を負わせ、または最悪の場合には死に至らしめる可能性があります。カブリナのフォイルも例外でなく、コントロール出来なくなる、ボードに体が当たる、溺れるなどといったことが起こります。フォイルを構成するパーツは鋭いものもあり、ユーザー自身や他の者に怪我を負わせないために、いかなる時も慎重に扱わなければなりません。

カブリナのフォイルには製品説明書が入っています。警告、組み立て、メンテナンス、フォイルのケアに関する項をフォイルを使い始める前に熟読する必要があります。カブリナでは以下の内容と異なる使用をしたユーザーに対して一切の責任を負いません。

体を守るため、適したヘルメット、インパクト/ライフベストとウエットスーツ、ブーツの着用をお勧めします。

自己のフォイルリング能力を過信することなく、常にフォイルを制御できるようにしてください。

自己の現界の範囲を脱することなく、スピードの出し過ぎに注意して快適に乗れる状態を保ってください。

周りの環境に慣れ、配慮するようにしましょう。ユーザー自身や周りの人、泳いでいる人、ボート、波止場、などの近くではフォイルリングせず、障害物になり得るものから離れましょう。

ライダーとギアに被害を生む可能性があるため、水深が浅いところで使用しないでください。この製品を構成するパーツは通常で使用していても摩耗や擦れが起こります。リペアや調整にはカブリナの純正パーツのみをお使いください。

ライディングごとにギアをチェックし、このマニュアルに記載しているように指定のネジでしっかりと固定するようにしてください。

このマニュアルに記載されている内容に反した場合は、怪我や死亡、ギアの破損、またはその両者が起こる可能性があります。

カブリナに責任の所在はないことをここに記載します。

カブリナのフォイルを購入された場合、購入者は全ての責任を負うことに同意したことになります。負傷や死亡が起きた場合はそれが当社の指示に従わない使用によるものであるかどうかにかかわらず、カブリナには怪我や死亡に対する保証の責任は一切ありません。

目次

CABRINHA

- 1 フォイルキットの搭載/ボードとの組み立て
 - フュージョン・ハイブリッド、フュージョン・カーボン、フュージョンDA
- 3 マスト、リアフューズレージとウイングの組み立て
 - フュージョン・ハイブリッド、フュージョン・カーボン
- 4 マスト、リアフューズレージとウイングの組み立て
 - フュージョンDA
- 5 フォイルのケアに関する情報

foil kit

FUSION HYBRID

付属品:

1. アルミ合金マスト (70cmか90cm)
2. アルミ製リアフュースレージ
3. ネジ4 x m6 x 30mm
4. ネジ1 x m6 25mm
5. T30&T40トルクスTハンドルレンチ

(マストとリアフュースレージ、ウイングの取付に関してはP3を参照)

FUSION CARBON

付属品:

1. カーボンマスト (70cm)
2. マスト搭載用ツール x 3
3. ネジ4 x m6 x 30mm
4. ネジ1 x m6 25mm
5. カーボン・リアフュースレージ
6. T30&T40トルクスTハンドルレンチ

(マストとリアフュースレージ、ウイングの取り付けに関してはP3を参照)

FUSION DA

付属品:

1. フロントウイング
2. スタビライザー
3. 3700mm合金製マスト (シルバー)
4. DAフュースレージ
5. ゴム付き固定型トッププレート
6. ネジ6 x m6 x 30mm
7. ネジ4 x m8 20mm
8. T30&T40トルクスTハンドルレンチ
9. ヘリコイル用ツール4 x m8 (フュースレージ)

(マストとリアフュースレージ、ウイングの取付に関してはP4を参照)

FUSION WINGS/STABILIZERS

付属品:

1. ウイング ネジ3 x m6 30mm
2. スタビライザー ネジ2 x m6 16mm

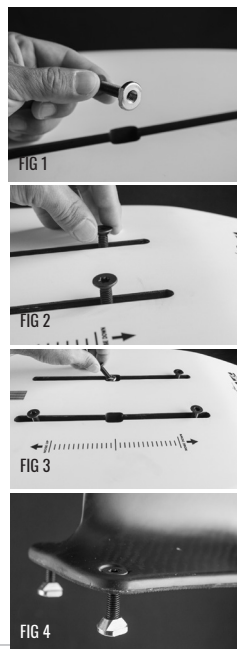
注意:

ボード搭載用ネジはボードに付属しています。
マスト/ボードの取り付けにはT40トルクスTハンドルレンチを使用します。
フォイルの積み立てにはT30トルクスTハンドルレンチを使用します。

foil kit assembly • board attachment

AUTOPILOT, X-BREED FOIL, CUTLASS FOIL, CROSSFLY, MACRO BOARDS:

1. フォイル搭載用ハードウエアが入っていることを確認します。(ヘックスボルト4とTノット4)
2. 数回転することでナットをネジに仮止めします。(FIG1)
3. ネジの頭を持ちナットをボードの溝に配置し、溝の端近くまでスライドします。(FIG2)
4. 溝の中にナットを残したままネジをナットから外します。アルミ合金製のトッププレートを使用している場合は同じ作業を繰り返します。(FIG3)
5. トッププレートの前側取り付け用くぼみにネジを差し込みナットが落ちないように数回回転させて仮止めします。そのまま見ずにネジを押しこみます。(FIG4)



foil kitの組み立て・ボードへの取り付け

6. トッププレートを図5のようにボックスの溝と平行になるように配置しTナットを溝に入れます。希望の取り付け位置までスライドさせます。フォイルをボードのノーズ寄りに取り付けるとリフトが高まります。ボードのテイル寄りにフォイルをつけるとリフトが弱まります。
7. 残りのTナットを平行に並べボルトで固定し、ネジ4箇所を均等に閉めます。(FIG 6、7)
8. アルミニウム合金のプレートの場合、溝の希望の位置にプレートを置きます。ぴったりとハマるので、均等に力を加えてスライドします。事前に溝の端に入れておいたTノットとボルトを、スライドしてプレートの穴に差し込みます。
9. アルミニウム合金のプレートの場合、溝の希望の位置にネジをつけていても微調整できます。位置が決まったら所定の位置でネジを固定します。(FIG 8, 9)
10. 4本のネジが均等に閉まっていることを確認します。(FIG 10)

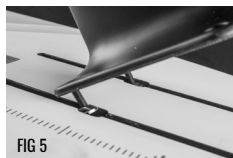


FIG 5

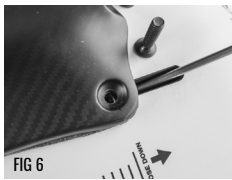


FIG 6

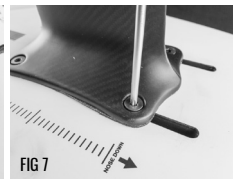


FIG 7

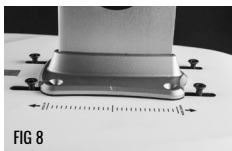


FIG 8



FIG 9

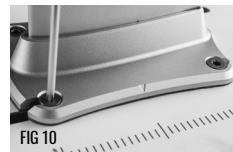


FIG 10

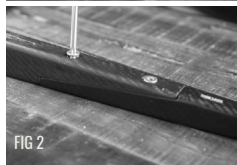
マスト、リアフュースレージ、ウイングの組み立て

フュージョンハイブリッド&フュージョンカーボン

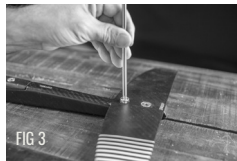
1. フロントウイングのフュースレージ部分とリアフュースレージの穴の位置を揃えます。



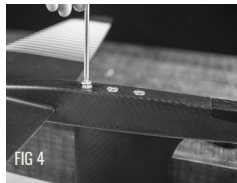
2. M6x30mmと24mmのネジを使いフュースレージを固定します。付属のT30トルクスTハンドルを使い手締めでネジを閉めます。閉め過ぎにご注意ください。



3. M6x15mmのネジを使いスタビライザー（リアウイング）を固定します。付属のT30トルクスTハンドルを使い手締めでネジを閉めます。



4. M6x30mmネジ3本を使いマストをフュースレージに固定します。



5. これでセッティングは完了です。

注意：ウイングは別売です。

マスト、リアフュースレージ、ウイングの組み立て

フュージョンDA

1. マストをフュースレージの所定の場所に配置しm6 30mmネジ3本で固定します。
(FIG1)



FIG 1

2. T40トルクスTハンドルを使います。スタビライザー（リアウイング）とフュースレージをm8 20mmネジを使い取り付けます。
(FIG2)



FIG 2

3. T40トルクスTハンドルを使います。フロントウイングとフュースレージをm8 20mmネジを使い取り付けます。
(FIG3)



FIG 3

4. これでセッティングは完了です。

foilとボードのケアに関する情報

ボードとfoilを長持ちさせるために

- カブリナが推奨するフィンやフットストラップ、アクセサリーを使用します。
- 全てのアクセサリーやハードウェアを搭載する際、電動工具を使用しないでください。電動工具を使用して生じた破損は保証の対象外になります。
- 全てのネジはしっかりと締めますが、締めすぎにご注意ください。
- ネジには多くの荷重がかかることがあります。そのため定期的にネジをチェックしてください。
- ボードやウイングに穴やヒビ、破損がないことを絶えず点検してください。
- 使用後は必ず真水ですすいでください。
- 長期保管する前には真水ですすいだ後、組み立てを外してください。
- 破損や傷を見つけた場合、使用前に必ず専用シールなどを使い、適切な修理を行ってください。
- 使用していないボードはカブリナのボードバッグに入れ、不必要な太陽光線、傷や擦れ、ひきさけを避けてください。
- 使用していないfoilはカブリナのfoilバッグに入れ、不必要な太陽光線、傷や擦れ、ひきさけを避けてください。
- カブリナのボードとアクセサリーは丈夫に作られていますが、全く破損しないわけではありません。岩やリーフなど硬いものに強くあたり衝撃を受ければボードやマスト、ウイングは破損します。そういった破損や傷は保証対象外となります。
- 使用後はネジ類は外すか緩めておいてください。外れなくなる可能性があります。

